



50年のあゆみ

滝沢市統計調査員協議会設立 50周年記念誌



滝沢市統計調査員協議会設立 50 周年記念誌 「50 年のあゆみ」

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

あゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

岩手県統計大会

総会・研修会開催状況・・・・・・・・・・ 15

アルバム・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

記念インタビュー

ワークショップ

広報たきざわ特集・・・・・・・・・・ 25

思い出 パート I

現統計調査員・・・・・・・・・・ 39

思い出 パート II

前統計調査員・・・・・・・・・・ 49

滝沢市統計調査員協議会・・・・・・・・・・ 53

はじめに

記念誌発刊にあたって

滝沢市統計調査員協議会長

齊 藤 文一郎



この度、関係者の皆様のおかげをもちまして、滝沢市統計調査員協議会が設立 50 周年を迎えることができました。

昭和 42 年 4 月設立当時、人口 1 万 2 千人ほどだった滝沢村は、盛岡市のベッドタウンとして発展し、平成 12 年 2 月には人口が 5 万人を超え、その後人口日本一の村となりました。また、平成 26 年 1 月 1 日には、住民自治日本一の市を目指して単独で市制施行し、協議会設立半世紀を迎えた今なお、他市町村の多くで人口が減少する中で、当市では僅かながら増加傾向にあります。

しかし、近年の産業構造の変化により、若者の都会流出が進み、地域によっては少子長寿社会、核家族の増加など、ライフスタイルの変化が起きており、このような社会、経済などの状況の変化を知るために、統計は重要な役割を果たしております。

最近では、各家庭にインターネットが普及し、平成 28 年の総務省の調査ではスマートフォンを保有する世帯の割合は 71.8% となり、5 年前との比較でも倍以上に増えています。この環境を利用して、調査方法の見直しも図られ、調査対象者のプライバシー保護意識の高まりや、勤務形態の多様化が後押しし、インターネット回答の増加がみられています。

しかし、回答の方法は多様化すれど、調査の入口である対象者の訪問と調査回答の依頼は、依然として統計調査員によるところが大きく、第一線で動く私たち統計調査員が回収率や有効回答率を左右すると言ってもいい、大変責任ある仕事であります。地道にお願いする回答の一つ一つが、将来の市、県、国を動かす道標となることを信じ、そのために、私たち統計調査員はますます協調し、研鑽を重ね、自覚と誇りを持って調査に当たらなければならないものと、気を引き締めております。

最後に、この記念誌発刊にあたって、御協力を賜りました関係者の皆様並びに会員の皆様に深く感謝申し上げるとともに、今後とも御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、挨拶といたします。

滝沢市統計調査員協議会 設立 50 周年を祝して



滝沢市長

柳 村 典 秀

滝沢市統計調査員協議会が設立 50 周年を迎えられましたことに対し、心よりお喜び申し上げます。

協議会会員の皆様には、日頃から統計調査の第一線で、基本的かつ重要、そして最も困難である実地調査を担当していただき、厚く御礼申し上げます。

また、かつて統計調査員を務めていただいた前会員の皆様にも、50 年のあゆみを築いてこられた御努力に対し、深く敬意を表します。

さて、近年の統計調査を取り巻く環境は、個人情報保護やプライバシー意識の高まり、生活形態の多様化などにより、年々厳しく複雑なものになっています。

そのような中、インターネット回答の導入など、調査方法の変化により調査員業務の負担の軽減も図られていますが、人と人がふれ合う、従来の調査員調査ならではの良さも再認識されてきています。

しかし、調査対象に何度も足を運び、誠意ある説明を尽くし、それでも協力が得られない辛い経験も少なくないでしょう。そのような時、協議会の仲間がいることは支えとなり、また統計調査員としての誇りを保つ絆になるのではないかと思います。

今後も統計調査員の皆様には何かと御苦勞をお掛けすると思いますが、統計の重要性を再認識され、協議会会員の協調のもと、統計思想の普及に努めていただきますとともに、地域社会の振興のため、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

統計は、揺れる社会の揺るがぬ指標と言われています。滝沢市も「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」の実現のため、皆様の努力の結晶である統計調査結果を大いに活用し、時勢を的確に読み取った市政の舵取りを行ってまいります。

結びに、貴協議会の更なる御発展と、会員の皆様の御健康と御活躍を祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

お祝いのことば

岩手県統計調査員協議会連合会長

佐藤 文雄



このたび、滝沢市統計調査員協議会が設立 50 周年の節目を迎えられましたことは、誠に喜ばしく心からお祝い申し上げます。

貴協議会におかれましては、昭和 42 年 4 月 1 日に設立されて以来、永きにわたり統計思想の普及と統計調査業務の向上、調査員相互の連絡協調を目的とした様々な活動に積極的に取り組まれ、統計行政に多大な貢献をしてこられました。これもひとえに、統計調査員の活動母体として、協議会の組織づくりや事業運営に御尽力されている会長をはじめ、役員及び会員の方々、更には事務局の皆様の多大な御努力の賜物であり、心から敬意を表するものであります。また、岩手県統計調査員協議会連合会においては、連合会活動の中心的な役割を果たされ、事業の推進に多大なる御支援や御協力をいただいていることに対しまして、改めてお礼を申し上げます。

国勢調査をはじめとする我が国の統計は、国や自治体における施策立案の基礎資料として欠かせないものであり、貴協議会及び統計調査員の皆様の果たす役割は、ますます重要になっておりますが、調査の円滑な遂行は、統計調査員の皆様の社会貢献への使命感と地道な御努力の積み重ねにより支えられているものであり、会員皆様の固い絆によるところと存じております。

滝沢市は、第 1 回国勢調査から人口が増加し続けている県内でも数少ない自治体であることから、各方面からも注目されており、今後の統計調査員の活動にも期待されているものと存じております。一方で、県内 14 市の協議会において最も少ない会員数にて調査活動を実施されており、オンライン調査の導入をはじめとした調査手法の複雑化や、調査活動を円滑に行うための地域住民の協力を得ることの難しさといった調査環境が厳しさを増す中、統計調査の第一線で活躍される皆様方の御労苦も多いものと存じます。

今後におかれましても、会員相互の連絡協調を保ち、英知を結集され、これまで築き上げてこられた輝かしい歴史と数々の貴重な経験をもとに、統計調査の充実発展と明るく住み良い地域社会づくりの重要な担い手として、更に大きく飛躍されますことを期待申し上げます。

結びに、滝沢市統計調査員協議会のますますの御発展と会員皆様の御健勝と御活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

お祝いのことば

岩手県政策地域部参事兼調査統計課総括課長
伊 勢 貴



滝沢市統計調査員協議会設立 50 周年記念誌の発刊に当たり、お祝いを申し上げます。

貴協議会におかれましては、昭和 42 年 4 月 1 日に設立されて以来、会員の皆様の研鑽と相互協調により統計思想の普及・啓発と統計調査の充実・発展に御尽力なされ、ここに設立 50 周年を迎えられましたことは、誠に喜ばしく心からお祝いを申し上げます。

また、協議会の運営に取り組んでこられた各位のたゆまぬ御努力に対しまして、深く敬意を表しますとともに、本県の各種事業につきましても多大なる御支援・御協力をいただいておりますことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波から 7 年が経過しました。今年度は、県の第三期復興実施計画の初年度に当たりますが、県では、安全、暮らし、なりわいの各分野において、復興事業の総仕上げを視野に、復興の先も見据えた地域振興に取り組んでいくこととしております。本県が復興に向けた取組を進めていくうえで、各種統計データは欠くことができない貴重な資料であり、会員の皆様の御尽力に対し、心より感謝申し上げます。

また、本県を取り巻く環境が大きく変化していく中で、活力に満ちた豊かな社会を実現していくための施策を企画・立案するに当たっては、事象を的確にとらえた、迅速で正確な統計が必要であり、統計の重要性はますます高まってきております。

一方、統計調査を取り巻く環境は、個人や企業における情報意識の高まり、共働き世帯や単身世帯、マンション・アパート世帯の増加などに伴い、調査への協力が得にくくなるなど厳しさが増してきております。また、インターネットを活用したオンライン調査の導入など調査方法も変化してきており、各種統計調査の最前線で重要な役割を果たされている皆様方には、様々な御苦勞をおかけしているところであります。

貴協議会におかれましては、このたびの設立 50 周年という節目を新たな飛躍の機会として、会員相互の結束の下に、長年培われた豊富な経験と英知をもって、統計調査の整備、発展に努められるとともに、住みよい地域の担い手として、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協議会のさらなる御発展を御期待申し上げますとともに、会員並びに関係各位のなお一層の御健勝と御活躍を御祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。

あゆみ

統計調査員 実施統計調査一覧

平成 20 年
2008

2/ 1 住宅・土地統計調査単位区設定
10/ 1 住宅・土地統計統計
12/ 1 工業統計調査

労働力調査、毎月勤労統計調査、特定サービス産業
実態調査、県生産動態統計調査

平成 21 年
2009

7/ 1 経済センサスー基礎調査
9/ 1 全国消費実態調査
12/31 工業統計調査

労働力調査、毎月勤労統計調査、特定サービス産業
実態調査、県生産動態統計調査

平成 22 年
2010

2/ 1 世界農林業センサス
10/ 1 国勢調査
12/31 工業統計調査

労働力調査、毎月勤労統計調査、国民生活基礎調査、
特定サービス産業実態調査、県生産動態統計調査

平成 23 年
2011

労働力調査、毎月勤労統計調査、社会生活基本調査、
県生産動態統計調査

平成 24 年
2012

2/ 1 経済センサスー活動調査
10/ 1 就業構造基本調査
12/31 工業統計調査

労働力調査、毎月勤労統計調査、国民生活基礎調査、
21 世紀成年者縦断調査、県生産動態統計調査

平成 25 年
2013

2/ 1 住宅・土地統計調査単位区設定
10/ 1 住宅・土地統計調査
12/31 工業統計調査

労働力調査、毎月勤労統計調査、国民生活基礎調査、
特定サービス産業実態調査、県生産動態統計調査

平成 26 年
2014

7/ 1 経済センサスー基礎調査
9/ 1 全国消費実態調査
12/31 工業統計調査

労働力調査、毎月勤労統計調査、県生産動態統計調
査

平成 27 年
2015

2/ 1 農林業センサス
10/ 1 国勢調査

労働力調査、毎月勤労統計調査、社会保障生計調査、
県生産動態統計調査

平成 28 年
2016

6/ 1 経済センサスー活動調査

労働力調査、毎月勤労統計調査、社会生活基本調査、
国民生活基礎調査、県生産動態統計調査

平成 29 年
2017

6/ 1 工業統計調査
10/ 1 就業構造基本調査

労働力調査、毎月勤労統計調査、県生産動態統計調
査

統計調査 表彰の記録

褒章・大臣表彰

平成 20 年

藍綬褒章（農林業センサス）	三上 昭太郎
経済産業大臣表彰（構造統計）	佐々木 民治

平成 21 年

総務大臣表彰（住宅）	高橋 三郎
------------	-------

平成 22 年

藍綬褒章（農林業センサス）	井上 勘八郎
農林水産大臣表彰（農林業センサス）	石川 一夫

平成 23 年

瑞宝単光章（各種統計）	高橋 三郎、斉藤 綏子
-------------	-------------

平成 24 年

藍綬褒章（農林業センサス）	石川 一夫
---------------	-------

平成 25 年

総務大臣表彰（就業構造）	関村 三千雄
--------------	--------

平成 26 年

瑞宝単光章（各種統計）	関村 三千雄
-------------	--------

平成 27 年

厚生労働大臣表彰（毎月勤労）	酒井 和雄
----------------	-------

平成 28 年

総務大臣表彰（国勢調査）	角掛 三四郎
--------------	--------

県知事表彰・感謝状、県統計協会長感謝状

平成 20 年

岩手県知事特別表彰	馬場 勝弘
岩手県知事感謝状	川村 三千美

平成 21 年

岩手県知事表彰	澤村 永悦
岩手県統計協会長感謝状	日向 秀逸

平成 22 年

岩手県知事特別表彰 角掛 三四郎、齊藤 綏子
岩手県統計協会会長感謝状 武田 隆彌、高村 礼子、上野 カナエ

平成 23 年

岩手県知事感謝状 千葉 敏子
岩手県統計協会会長感謝状 藤田 克子、齊藤 契子、齊藤 斉

平成 26 年

岩手県統計協会会長感謝状 武田 美紀、大森 みゆき

平成 27 年

岩手県知事感謝状 大宮 恵子
岩手県統計協会会長感謝状 角掛 正藏、藤原 忠雄、田高 久子、山本 久美、吉田 賢治

平成 29 年

岩手県統計協会会長感謝状 高橋 みゆき、酒井 和雄

市勢振興功労者表彰

平成 20 年

柳村 富太郎、角掛 清、主濱 信夫、齊藤 幸喜

平成 21 年

関村 三千雄

平成 22 年

三上 正喜

平成 23 年

齊藤 綏子

平成 24 年

駿河 國太郎、陸 誠

平成 29 年

角掛 新一、澤村 永悦

岩手県統計大会

滝沢市統計調査員協議会 **総会**

滝沢市統計調査員協議会 **研修会**

岩手県統計大会

滝沢市統計調査員協議会総会・研修会

1 岩手県統計大会

回	開催年月日	開催地
第65回	平成20年10月30日(木)	宮古市民文化会館
第66回	平成21年10月29日(木)	二戸市民文化会館
第67回	平成23年2月3日(木)	盛岡市民文化ホール
第68回	平成24年11月8日(木)	一関文化センター
第69回	平成25年11月12日(火)	遠野市民センター
第70回	平成26年11月13日(木)	奥州市文化会館
第71回	平成28年2月4日(木)	盛岡市民文化ホール
第72回	平成28年12月2日(金)	大船渡市民文化会館
第73回	平成29年11月9日(木)	北上市文化交流センター

※平成23年度は東日本大震災津波の発生により開催中止

2 滝沢市統計調査員協議会 総会

年度	開催年月日	主な議題
20	平成20年5月29日(木)	役員選出
21	平成21年5月13日(水)	役員選出
22	平成22年5月24日(月)	役員選出
23	平成23年5月20日(金)	役員選出
24	平成24年5月11日(金)	役員選出
25	平成25年5月23日(木)	
26	平成26年5月22日(木)	会則改正、役員選出
27	平成27年4月30日(木)	役員選出
28	平成28年4月27日(水)	
29	平成29年4月27日(木)	

3 滝沢市統計調査員協議会 研修会

年度	開催年月日	開催地
20	平成 21 年 3 月 25 日～ 26 日	雫石町
21	平成 22 年 3 月 25 日～ 26 日	盛岡市
22	平成 23 年 2 月 3 日～ 4 日	盛岡市
23	平成 23 年 12 月 1 日～ 2 日	盛岡市
24	平成 24 年 11 月 8 日～ 9 日	一関市
25	平成 25 年 11 月 12 日～ 13 日	遠野市
26	平成 26 年 11 月 13 日～ 14 日	平泉町
27	平成 28 年 2 月 4 日	盛岡市
28	平成 28 年 12 月 2 日	大船渡市
29	平成 29 年 11 月 9 日～ 10 日	北上市



アルバム

2008 – 2017

アルバム 2008 - 2017



平成 20 年 10 月 30 日
第 65 回岩手県統計大会
宮古市 宮古市民文化センター



平成 21 年 3 月 25 日～3 月 26 日
滝沢村統計調査員協議会研修会
雫石町 南部富士見ハイツ





平成 22 年 3 月 25 日～3 月 26 日
滝沢村統計調査員協議会研修会
盛岡市 愛真館



平成 23 年 2 月 3 日～2 月 4 日
滝沢村統計調査員協議会研修会
盛岡市 愛真館



平成 23 年 12 月 1 日～12 月 2 日
滝沢村統計調査員協議会研修会
盛岡市 愛真館

アルバム 2008 - 2017



平成 25 年 11 月 12 日～ 11 月 13 日
 第 69 回岩手県統計大会
 滝沢村統計調査員協議会研修会
 遠野市 遠野市民ホール・遠野市役所



平成 26 年 11 月 13 日～ 11 月 14 日
 第 70 回岩手県統計大会・滝沢市統計調査員協議会研修会
 奥州市 奥州市文化会館
 平泉町 平泉町役場





平成 28 年 2 月 4 日
 第 71 回岩手県統計大会・滝沢市統計調査員協議会研修会
 盛岡市 盛岡市民文化ホール・岩手県公会堂



平成 28 年 12 月 2 日
 第 72 回岩手県統計大会・滝沢市統計調査員協議会研修会
 大船渡市 大船渡市民文化会館・酔仙酒造



平成 29 年 11 月 9 日
 第 73 回岩手県統計大会
 滝沢市統計調査員協議会研修会
 北上市 文化交流センター
 ふるさと体験館北上

記念インタビュー
ワークショップ
広報たきざわ特集



滝沢市統計調査員協議会 50周年記念誌企画
50周年記念インタビュー

開催日 平成30年1月31日(水)
場 所 滝沢市役所3階 庁議室
出席者 滝沢市統計調査員協議会
会 長 齊藤文一郎
副会長 齊藤 綏子
副会長 大宮 恵子
司 会 滝沢市企画総務部企画政策課長
熊谷 和久



◎調査活動での体験談

司会：本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。協議会設立50周年記念の座談会ですが、活動を振り返っての苦労話や、今後のあり方などをお話しいただければと思います。

会長：私は調査員になって今年でちょうど10年になります。住宅・土地統計、農林業センサス、国勢調査は2回ずつ、他にもやりましたが、インターネット回答が紙調査票と同じくらいの割合になってきたと感じています。自分の年代は苦手な人が多いけど、若い人はインターネット回答が多いから、調査依頼するのに恥ずかしいなという感じもして、時代の流れですし調査員もやってみる必要はあると思います。あとは、県大会はなるべく参加するようにしていますが、周りを見ればやっぱり年配の人が多いなと感じていますね。

大宮：国勢調査のインターネット回答は3割を超えているようですし、調査員にインターネット回答の仕方の講習会を開いてもいいのではないのでしょうか。自分が調査を依頼する時は「どっちでもいいですよ、好きな方でやってください。」って言うくらい。それ以上、やり方とかを聞かれたことは無かった

けれど「こういうふうにやればいいんだって！」って、簡単にでもやり方を説明できればね。若い調査員はいいと思うけど、仲間づくりのためにも、そういった勉強会で集まるということも必要かもしれないですね。

斉藤：私は調査員になるというのは苦労するという、という頭があったから、あまり苦労と感じたことはなかったですね。（一同、感嘆）

司会：調査活動の中で、対応していただけないお宅が増えたとかそういうことはありますか。

斉藤：そういったことはあまり感じていませんが、表札が出ていなかったり、出ていても親の表札だったりというのは多いですね。最近だと室内飼いのペットが飛び出してくるということも。中にはドアのすき間から腕だけ出してきた対応されたこともありました。

司会：調査方法もですが、対象者の状況も変化して、昔より厳しい調査環境になっているんでしょうか。

会長：チラシ配りから始まって何回か歩くうちにだんだん顔を覚えてくれます。最初は身構えられるけど、身分証を見せて、丁寧に説明することで調査票を受け取ってもらえることが多いです。あとは近場の時はできるだけ自動車を使わずに自転車などで回ることで、





齊藤 文一郎さん

通勤時間帯や夕飯時を控えることは気をつけています。それだと一日に何件も回れないけど、少しずつ減ってくるので、長いスパンで考えています。

司会：滝沢の特徴であるアパート、新築住宅が多い地区ではどうでしょうか。

会長：自分がアパートの多い地区に当たった時は、お願いした時の相手の返事はいいんだけど、次に行った時は留守で、何回もそういうことがあって、何時に行ったらいいかなと悩みました。夜8時以降は行かないようにしているので、1軒か2軒歩けば精一杯ですね。協力的な人はドアに調査票を下げてくれたりするけど。

大宮：電気がついていても、インターホンを鳴らしても出てきてくれないこともありますよ。

齊藤：調査していて最近思うのは、意外と若い方は協力的だということ。ご苦労様です、と声をかけてくれます。逆に高齢の方はいろいろ言うてくることがあります。あとは、高齢のお宅の

メモは字を大きく書いて読みやすくするなど工夫をしています。

司会：相手への思いやりですね。

齊藤：悩みを話してきたら、調査そっちのけで聞いてあげたりということもあります。

事務局：他の調査員からも『一人暮らしの方の話し相手になって喜ばれた』というコメントがありました。こういう時代だからこそ、調査員調査ならではのいいところもあるのかもしれないですね。

大宮：昔からの地域では結構そういうことがありますよ。新しい地域はなかなか難しい。でもアパートの人も、一回目の回収でまだ書いていなくても、「〇日にポストに入れておくから持って行ってください。」っていう形で、行けばちゃんとある。そうすると嬉しいですね。でもやっぱり向かい合って話ができるのは面白いですよ。やりがいがあるというか。(一同頷く)

会長：インターネットも楽でいいんだけど、対面は回収した喜びがより大きいね。

大宮：すき間から腕だけ出て来るのじゃなければね。

齊藤：県職員のアパートで。何十年前ですけど、いつまでも強く印象に残っています。

大宮：お互いの心遣いが大切だよ。いくらなんでも腕だけは失礼だよ。

◎調査員の担い手問題

司会：皆さんそれぞれやりがいを見つけていただきながら、頑張ってくださいね。今、自治会に調査員の推薦をお願いしていますが、やりがい

の部分は今一つ伝わってないのかなということも感じています。調査員の皆さんが、地域で笑顔で活動することで、やってみたいと思ってくれる方もいると思いますし、市の方でも広報をしていきたいと思いますが。

斉藤：調査員が推薦するのはどうですか。盛岡在住の時は何人も推薦してやっていたと思います。

司会：ぜひお願いしたいと思います。個人情報に関する仕事のため自治会推薦を依頼してきた経緯があり、市では公募はしてこなかったんですが、検討しなければならないと思っています。調査員確保について他にアイデアはありますか。

大宮：でもやっぱり自治会長に選んでもらうのが一番かな。私は調査員が何かも全然分からないまま引き受けてしまいましたが。盛岡の時は、声をかけてその人がすぐ引き受けてくれたんですか。

斉藤：引き受けてくれたんです。今は偉くなっていますよ。

事務局：逆に盛岡市は公募、推薦で確保されているようです。

大宮：でもあの人よさそうだと思うても、私たちが声をかければ自治会長と違って頭から断られるよね。

司会：調査員はどういう仕事をしているのか、まず市民に知っていただくことで、調査を依頼された人の対応に変化があるかもしれないですね。その中で、調査員をやってみよう、という人も出て来るかもしれない。もっとPRが必要だと思いますが、仕事とか報酬ではない、いい面をお知らせしていきたいです。何か皆さんの経験の中ですか。

斉藤：いい人だと思われるかな。口が堅いから、って家庭の相談をされたり。会長：知らない所を歩いて道路を覚えたり、こういう仕事をしている人が滝沢にいるんだ、とかいろいろな発見がありますよ。空き家が増えてきたっていう社会問題も、自分の目で見て感じています。

大宮：私は地元を担当することが多いから、そんなに苦労したこともないし、対象者の方と親しんでお話しができる、行って楽しかったな、と思いますよ。会話が一番のやりがいかも。あとは歩くと健康のためにもいいですね。アパートだと何回も階段登ったり降りたり。

司会：歩くことで地域でのいろんな発見があるんですね。あとは人との関わりで楽しくなるとか、幸せを感じる、とかが統計調査員の仕事のやりがいになっているんですね。またそういった姿を見せることで信頼される、とか。そこは他の仕事とは違った面かもしれないですね。



斉藤 綾子さん

斉藤:大変な事もありましたけどね。昔、旅館が調査対象になって、帳簿整理を頼まれたこともありましたよ。目の前に対象者が座って仕事っぷりを見られて。別の旅館に行った時は、対象者はお茶を淹れたりして、すっかりおしゃべりの相手にさせられて。

事務局:農林業センサスでは農家さんに調査を頼みに行くと「分からないから書いてくれ」って言われるという話をよく聞きますが。

会長:そうそう。あるね。でも牛とか家畜は少なくなったから、調査するのも田んぼの面積位で、比較的楽になったかな。ただ収入面はちょっとね。そこまで書かなきゃいいのか、って声はあるね。

事務局:見知った調査員だとなお、書きにくいというのはあるかもしれないですね。

会長:そう。だからそういう時はちょっと離れた調査区に行った方がいい場合もあるね。



大宮 恵子さん

大宮:みなさん収入面とか、正確に書いているものですかね。(一同、笑)

事務局:そう信じたいですね。他の調査員からも『税金に影響すると思われるか、ちょっと正確性に疑問がある調査票も見受けられた』というコメントも来ています。統計調査というのは、税とか他の制度から完全に独立したものだ、という市民の理解も進まなければいけないんだなと思いました。統計調査の精度に関わることなので、正直に答えていただきたいですね。

会長:時期が時期だけに、2月頃だから、やっぱり対象者もかなり気をつけるみたい。そこまではいいんじゃないか、っていう感じで言われたりします。

大宮:嘘の金額を書けば、正確な統計じゃないですもんね。全国で嘘の答えを書いたらどうなるんでしょう。大変なことですよ。

事務局:調査結果を見て、いろいろな政策が打ち出されていくわけだから、そもそもが嘘だったら社会を良くするための統計にはならないですよ。

司会:統計って本当に政策に直結していて、国勢調査の人数で、国から来る交付金が変わったり、身近なところで私たちの生活に関わってきます。次の調査結果が出るまでの5年間、その数字がベースになるわけです。一つ一つの積み重ねが私たちの生活に関係してくる。調査員の仕事って大切で、大事な役割を担っているんです。

また、つい先日、国が民間委託した調査で訪問を受けた市民の方から、本物の調査員なのか、という問合せがありました。登録調査員のように、いつも回っている方だったらそういうこともないのかなと思いました。自分の地

域で全然知らない人が来れば、不審に思いますもんね。

大宮：振り込め詐欺なんかも流行っているの、余計に警戒するんじゃないでしょうか。

司会：身分証明も見せられたけど、信用できないということでした。先ほど斉藤さんのお話にもあった、信頼があるかないかというところなんだと思います。

◎担当する調査区について

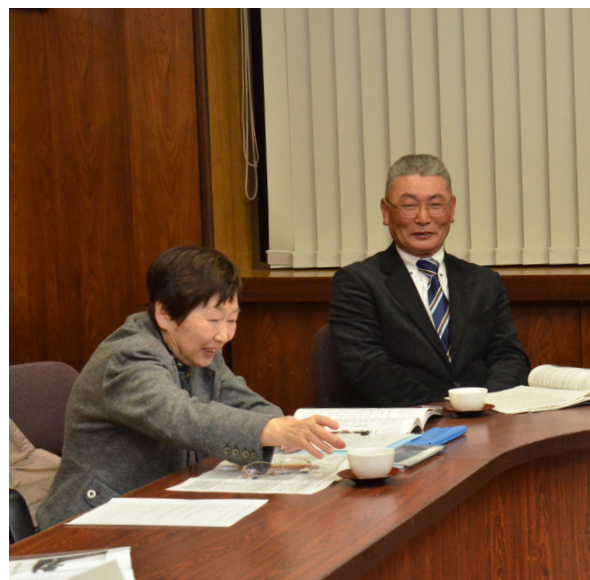
司会：人数の話をするれば、滝沢市の調査員は、人口4万人の頃からあまり増えていないんです。調査員の数を増やしていければ、一人一人の負担も減らせるかなと考えています。

事務局：人口規模の大きな地域だと抽出調査でも当たる可能性が高くなりますが、その地域に調査員が少なければ同じ調査員に年に何回もお願いするということになります。そこを分散できるような体制がとれば。他にも、調査員の都合がいつもいいとは限りませんし、体調を崩したりとか、そういう時は他の人に頼める環境が大事だと思います。

斉藤：調査員の中には自分の住まいの地域ではない所に当たる方もおられますか。

事務局：お住まいに近い所をなるべく担当してもらうよう配慮はしていますが、難しい場合もありますし、工業統計だと市全域を3人で分担なので、すごく広範囲を担当してもらうということもあります。

斉藤：盛岡で調査員をやっている時は、青山在住で区界の担当になったことも



ありました。地元の話だと獣も出てたみたいだけど、私は分からなかった。暗いから車を止めて、ライトを点けたまま歩いて。家に鍵も掛けてないし、表札も出ていない。調査票も書けないから健康手帳を見せてもらって代わりに書いたりしましたよ。

会長：なおさら大変だ。

大宮：怖いですね、夜、そういう地域を回るのは。

事務局：まして女性の調査員が。

大宮：今は、誰でもいいから刺してみたかったとか、殺してみたかったとかいう時代だから。

斉藤：気が強くなりましたよ。

会長：夜じゃなきゃ帰ってこないんだもんね。

斉藤：夜8時頃までは行きましたね。皆さんは自宅から近い所を担当してますか。

会長：意外とね。全然違う所を担当することもあるけど。自分の住んでいる地域以外の事を知りたいな、と思う。

司会：自分の知っている地域じゃない所を担当すると、すごく大変だっていうお話も時々聞きますが。

会長：私は自分の知らない地域に行つて、意外な所で知っている人に会ったりする楽しさも感じますよ。

司会：知りたい、やってみたいという好奇心が若さの秘訣かもしれないですね。

斉藤：近い所ばかりじゃなく、遠い所をやるのもいいもんですよ。(笑)

事務局：今度、皆さんに、従事場所の希望を聞いてみたいと思います。

会長：たまにはいいもんだよね。(笑)

◎調査員同士の情報交換

司会：今、調査員同士の情報交換の場が少なくなってきました。今年度は3年ぶりに泊まりで研修、懇談会をしましたが、非常に良かったというお言葉もいただきました。ただ国から来た調査を、事務的に実施するだけではちょっと寂しいですよ。協議会の意義は、やはり情報交換とか、いろんな苦労話ができる場というところにあると思うので、それを理解していただきながら今後も続けていきたいですね。

会長：毎年宿泊研修できればいいけど予算の事もあるしね。

司会：昔は全国大会も参加していた時代もありましたが、平成17年頃から参加していません。こういった機会が少なくなると横のつながりが弱くなってきますね。

斉藤：旅行をしなくても、市の施設でお茶でも飲みながら、座談会風にしてもいいと思います。

会長：総会に合わせてやるのがいいかもね。せっかく人数も来てもらうんだから、そのまま解散じゃなくて。

大宮：集まったついでにね。

斉藤：お茶菓子食べながら、お茶飲みながらね。

大宮：予算なければ、なんぼか会費もらって。

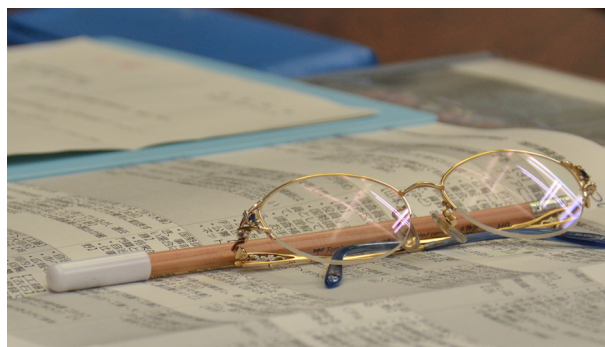
会長：そのくらいだったらみんな大丈夫じゃない？

司会：そういう活動を広報できれば協議会の敷居も下がるかもしれないですね。

会長：俺もやってみようか、っていう人が出てくるかもね。

司会：調査員には若い方もいますので、情報交換できれば。調査員同士で、インターネットを見てみるとか。

会長：そういう勉強会も兼ねてね。



◎次の10年に向けて

司会：次の10年に向けてですが、高齢化もどんどん進みますし、また新しい課題が出て来ると思いますので、仲間づくり、調査員同士の情報交換が大事になってきますね。

一人暮らしの方も増えてきますし、調査員の皆さんには普段からコミュニティの中で挨拶をしてもらったり、市は、調査員はこういう人だよというPRをしたりとか、そういう10年になっていくんでしょうね。

大宮：集まって、話し合うのが一番必要なことじゃないかな。

齊藤：なんでも苦勞はつきもの。それを頭に入れて。

司会：苦勞を一緒に乗り越えて、達成感、喜びとか成果が出てきますね。参加してもらって、交流を深める仕組みも作っていけば、調査員への見方も変わってくるのかなと思いました。

齊藤：人から何やっているのって聞かれたら、いばって「統計調査員やってる！」ってアピールしましょう。(笑) 私は自分から調査員やりたいって手を挙げて図々しかったかな。(笑)

司会：意外と、知ったらやりたいって人はいるのかもしれないですよ。そこに光を当てる、もっと情報を出すのが市役所の仕事だと思いますので頑張りたいと思います。さて、予定の時間も近づいてきましたが、今日は本当に貴重なお話をありがとうございました。最後に、一言ずつお願いします。

齊藤：やっぱり事務的に調査をやる他に、調査員同士集まりをもって、こういう場合はどうするとか、話し合いをする場があればいいなと。私はこれまでの調査員生活でそういう経験を何回もさせてもらいました。調査員同士で交流があれば相談できるから、いきなり市の担当職員に連絡するより助かるんですよ。

大宮：齊藤さんが言ったとおりだと思います。仲間づくりから始まって、少しずつ経験を重ねていけばいいですよ。集まる機会を利用して、話し合うのが必要になってくると思います。

司会：大宮さんのお宅に、昔の国勢調査の時の調査員への記念品があるんですよ。

大宮：第2回の時、おじいさんがもらった鉄瓶ね。穴が空いているけど。(笑)



司会：そういうのも披露してもらっても面白いですよ。会長はどうでしょう。

会長：協議会がせつかくあるんだから、活用すること。ネット、スマホ回答がこれからどんどん出て来るから、調査員も知識を得ることが必要だと思いますので、会員同士の集まりの時はそういった勉強会を持ちたいですね。総会と統計大会の年2回くらいしか集まらないと思うけど、その機会を大切に、話し合いの場を作っていければと思います。

事務局：事務局としても、今後更に協議会員の顔が見えるような取り組みをしていきたいと思っています。協議会の皆さんに向けては、参加できない方に活動状況をお知らせする調査員ニュースを発行したり、市民の皆さんに向けて、協議会の活動を広報やホームページで広く知ってもらう取り組みをしていきたいと思っています。

司会：今後に向けてのアイデアをたくさんいただきました。本日は本当にありがとうございました。



～滝沢市統計調査員協議会研修会～ 調査員確保のアイデアを検討

平成29年11月10日、北上市のふるさと体験館北上にて滝沢市統計調査員協議会研修会が行われました。

統計調査員の担い手不足や高齢による引退などによって、調査員登録数が減少している現状から、これからどのように調査員を確保していくかをグループごとに話し合いました。

話し合いでは、調査員確保のアイデアのほか、調査員になったきっかけや各所属自治会の状況、募集に関して個人でできること、調査活動を継続するために必要なことなどを議論。調査活動時の対応の仕方や苦勞を互いに分かち合いながら、調査活動の意義に理解を深めました。

●調査員の募集・登録方法のアイデア

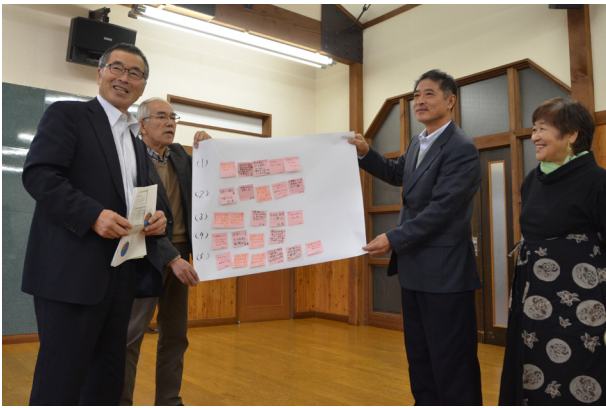
◎市は…

- ・統計調査について市民が知らないの
で、広報での統計調査員特集など、身
分等を含めて周知が必要だと思う。
- ・国勢調査に携わった方に、調査員と
して登録してもらおうよう話して理解し
てもらおう。
- ・公募をする。

◎統計調査員は…

- ・所属する自治会の中でPRをする。
- ・身近に適任者がいたら誘う、市に推
薦する。





●調査員として活動し、または継続するために必要なこと

- ・大まかでもいいので調査対象者に結果をお知らせする。通常、調査はお願いして終わり、結果は国がインターネットで公表するだけだが、回答が社会に役立っていることを形として示すことで調査員もお願いしやすくなる。
- ・個人で仕事をするので、困ったことなどを話し合える場所、研修会や交流の場を増やして欲しい。調査員同士で交流し、勇気もらうこと。
- ・自分自身が楽しく行うこと。調査員をやってみたい人が増えるかもしれない。

●これらのご意見を踏まえて

協議会事務局（滝沢市企画政策課）では、

- ・市民に統計調査の意義を理解していただくこと
- ・統計調査員の仕事の内容を周知し、仲間を増やすこと
- ・統計調査員が活動しやすい環境づくり

の一步として、統計調査に関する特集記事を広報たきざわ平成30年3月号に掲載しました。次ページに記事を掲載していますので、会員の皆さんによるPR活動の資料としてもぜひご活用ください！





統計が 教えてくれる 地域力



平成 29 年度「統計の日」ポスター

統計調査員を
募集しています

統計調査の円滑な実施のためには、統計調査員として活動していただく皆さんのご協力が欠かせません。
市では、統計調査員をあらかじめ確保する登録調査員制度を実施しています。現在、市内の自治会に対して候補者の推薦を募っていますので、お住まいの自治会から依頼の際は、ご協力をお願いします。また、関心をお持ちの人は、お住まいの自治会または市にお問い合わせください。

統計普及のため
啓発活動を実施

総務省では、統計の重要性に対する関心と理解を深め、統計調査に対するより一層の協力をいただけるように定めた「統計の日(10月18日)」を中心に広報を行っています。その一環として、ポスターを始めとする広報媒体に活用する標語を募集しています。現在、平成30年度の標語を募集していますので、ぜひご応募ください。詳しくは、市企画政策課に応募用紙を備え付けているほか、市のホームページでもご確認いただけます。

調査へのご協力を
お願いします

調査対象の皆さんからいただいた調査票は統計としてまとめられて公表され、国や地方公共団体を始めさまざまなところで広く利用されます。統計の信頼性や正確性を確保するためには、調査対象の皆さんから正しい内容を申告していただくことが大切です。統計調査員は、統計法で秘密の保護が義務づけられ、調査対象者のプライバシーは保護されます。調査を依頼の際は、ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ
企画政策課
(☎656・6561)

○平成30年度に予定されている調査
工業統計調査、住宅・土地統計調査、労働力調査など

正確な統計に向けて
頑張っていきたい

おおみや けいこ
大宮 恵子 副会長
(大釜地区)
調査員歴 22 年 7 カ月



調査員が何をするのかも全然分からずにこの世界に入りましたが、調査対象者の方とのコミュニケーションが楽しくやりがいを感じています。最初は仲間づくりから、仕事は少しずつ経験を重ねていけばいいと思います。今後も正確な統計を作るために、調査対象者の皆さんの協力をいただき頑張ります。

調査活動に人となり
を育てられた

さいとう やすこ
斉藤 綏子 副会長
(穴口地区)
調査員歴 47 年 5 カ月



調査活動に苦勞はつきものですが、教えられることが多く、自分の人となり育てられました。調査対象者の方から「ご苦勞様です」と声を掛けられると嬉しく思います。調査員同士の教え合い、助け合いで進めていますので、興味のある方にぜひ仲間になってもらいたいですね。

知っていますか？統計のこと

《特集》

「統計が 教えてくれる 地域力」

(平成 29 年度「統計の日」標語特選作品)



急激に変化する
社会環境の中で

近年、社会や経済の構造はめまぐるしく変化し、情報処理技術の発展やライフスタイルの変化などが急速に進んでいます。国や地方公共団体が社会情勢の変化に対して適切に政策を実施することや、企業や市民の皆さんが国の実態や課題を理解し意思決定するためには、社会や経済の実態を正確に把握することが必要です。

統計の果たす
役割とは？

統計とは、ある事柄を時間や地域などの一定の条件で調べ、この結果を整理し、数値やグラフで表すことをいいます。統計の結果は、社会全体がどのような姿をしているかを正確に表す重要な役割を果たしており、国や地方公共団体が今後どのような政策を実施すればいいか考える材料になります。私たちの生活をより良くするために、正確な統計が欠かせず、統計の果たす役割は大きくなっています。

統計調査員って
なにをするの？

統計は「揺れる社会の揺るがぬ指標」といわれています。統計調査員は、その揺るがぬ指標を作るために、国や県が行う統計調査の第一線で活躍していただく皆さんです。各種統計調査が実施されるごとに、国または県から統計調査員として任命され、調査票の配布、回収や回収した調査票の点検、整理などの業務に従事しています。

身分

任命期間中は非常勤の国家公務員または地方公務員となります。職務の特殊性から、一般の公務員とは異なった取り扱いとなり、例えば、営利事業の従事制限はありません。

◆報酬
統計調査に従事した場合、調査によって規定の報酬が支払われます。

◆災害補償
任命期間中に災害に遭った場合は、法律などの規定に基づいて公務災害補償が適用されます。

調査ではいろいろな
発見があり楽しい

さいとう ぶんいちろう
齊藤 文一郎 会長
(大沢地区)
調査員歴 9年9カ月



調査では知らない道を歩いたり、意外なところを知っている人に会ったり、いろいろな発見があり楽しいです。インターネット回答が多くなりましたが、調査票をいただいた時の喜びはまた格別です。調査環境は年々変化していきますから、調査員も協議会の場を生かして研修を重ねていきたいと思ひます。

滝沢市統計調査員協議会は統計調査員の研修や親睦事業の実施、統計思想の普及を図るための組織として昭和42年に設立され、長年にわたり統計調査への協力を行ってきました。

今回、協議会の設立50周年に当たり、現在、会長、副会長として協議会の発展に尽力されている3人にお話をお聞きしました。

滝沢市統計調査員協議会
設立50周年インタビュー

思い出 I

現統計調査員



宮野 一夫
(小岩井)

- ①相手の気持ちになって対応すること。
- ②真冬の調査活動が大変だと思いました。
- ③企画政策課の皆様には、毎回大変お世話になっております。今後ご指導よろしく願いいたします。



日向 昭男
(大釜上)

- ①正確に実施すること。



大宮 正
(大釜上)

- ①◎自己証明をはっきりという事。◎身分証明書を確実に携行する。
- ②対応がそれぞれである。
- ③協力性のない人が意外と多い。



武田 謙三
(大釜南)

- ①「手引をよく読み」「トラブらず」「怪我せず」「やり遂げる」こと
- ②朝昼晩と何回も訪問し、やっと会えた時の達成感みたいな気持ちは何とも言えない。「根気のいる活動だな」と思った。
- ③◎訪問調査は朝夕ともに7時前後が在宅率が高い。◎訪問調査では1～2件非協力的な人がいる。
- ◎厳冬期は降雪、凍結のため自転車は危険。歩きしかない、他の時期にできないのか。



大宮 恵子
(大釜南)

- ①調査対象となる関係者に丁寧な説明と、傾聴に留意して接することを心がけております。
- ②統計調査員になって間もない頃、調査対象者に数回訪問したが不在（不在連絡票は配布済み）であったため、後日午後9時頃訪問したら、時間が遅いと怒られたことがあった。節度ある調査活動が求められていると感じました。
- ③数十年前はとてもやりやすく、連絡などの約束も守ってくれた。家が多くなるに連れてその反対になった。残念である。

調査員の皆さんに、次のことをお聞きしました。
①調査活動で心掛けていること
②統計調査員の活動で印象に残っていること
③ひとこと（思い出や、統計調査をして感じたことなど）



武田 美紀
(大釜南)

- ①笑顔と大きめの声。
- ②調査の時しか会わない方から「武田さん」と言ってもらえたこと。
- ③地域の方を沢山知る事ができた。前任の夫の時は、冷たくされたり断られる事が度々あったそうで、男性は警戒される場合が多いのかな、と思う。



小野木 秀昭
(篠木)

- ①安心、安全、信用。
- ②皆様、意外と協力的です。
- ③核家族、若者はどこに行ったやら。



武田 久良
(篠木)

- ①言葉使い。
- ②アパートの2階に調査に行った時のこと、部屋に電気がついているので階段を登りはじめた途端、音を聞いて電気を消されたこと。
- ③市役所から調査員の名前の入った案内を出してもらって行きやすかった。



齊藤 文一郎
(大沢)

- ①身だしなみ。
- ②市内にもいろんな仕事をしている方がいらした(自営業)。
- ③地域によって調査が多い方があるので、調査員の配置人数を考えてほしいと思う。特にアパートなどをどういうふうにするか？



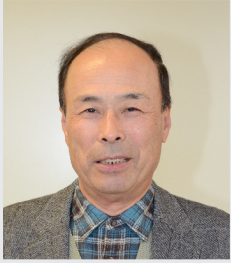
齊藤 信夫
(篠木)

- ①対象世帯の日程に合わせて訪問すること。
- ②調査を快く引き受ける人に大変感謝している。
- ③国勢調査の他に数多くの統計調査があることを知りました。



藤倉 恭一
(大沢)

- ①信頼関係を築けるようにすること。
- ②全国消費実態調査で、調査対象者には、長期間毎日、家計簿記帳に協力してもらえたこと。
- ③時代に即した有効な調査内容及び調査方法の検討が必要と思われる。



吉田 賢治
(上鵜飼)

- ①良い印象を与える事に徹する心、この調査員に協力しようと思ってもらえるように心掛けている。
- ②調査員になって初めて「ご苦労様」と声をかけられた日。感動しました。
- ③時には人間的に貶され、否定される事ばかりの私に、あるお宅でお茶とお菓子を御馳走になり、心が洗われ嬉しかった。



関 進
(上鵜飼)

- ①◎訪問時間帯。◎言葉使い。
- ②◎「ご苦労様でした。」と言われた時。◎調査の意味を理解されていない為苦情を言われた時。
- ③調査区域が自分の住んでいる区域でないので訪問がスムーズにいかない事。



佐々木 勝男
(滝沢ニュータウン)

- ①地方公務員（非常勤）の自覚の下に細心の配慮で対応。
- ②冬期、吹雪の中の調査、再訪問。
- ③過去の農林センサスの際、独居高齢者との対話で少子化・後継問題を抱えている方が多かった。統計により、改革を期待したい。



内記 軌平
(鵜飼温泉)

- ①◎調査目的等を十分理解したうえで、活動すること。◎調査先等への丁寧な説明等（接遇態度も含め）により理解と協力を得て、円滑な活動に努めること。◎活動時の事故（事務事故を含め）に十分留意すること。
- ②前任者が任期途中でお辞めになられ、後任の方を探すも、引き受け手がなく、やむを得ずお引き受けし、未だ半年しか経っておりません。よって、調査活動での印象は特に持ち合わせておりませんが、あらためて前任者の御苦労に感謝申し上げます。
- ③調査員の活動は地味ですが、重要な社会貢献の一つでもあると感じております。



佐々木 清彦
(姥屋敷)

- ①挨拶と笑顔、だいたいこれで協力を得られる。
- ②「この忙しいときに」と言われたこと。農業センサスは、農繁期は避けた方が良い。すべて米農家でないので収穫期が違うことも考慮。
- ③ご苦労様と声をかけられたこと。

調査員の皆さんに、次のことをお聞きしました。

- ①調査活動で心掛けていること
- ②統計調査員の活動で印象に残っていること
- ③ひとこと（思い出や、統計調査をして感じたことなど）



太田 豊
(姥屋敷)

- ②1年目ということでもまだ現場には立てていませんが先輩調査員の様々な体験をシミュレーション中です。
- ③大変な仕事を引き受けたな、というのが実感でしょうか。現場に立てる様に、努力します。



去石 一美
(元村中央)

- ①正確な統計調査に取り組む事。
- ③研修会に参加して皆さんの色々な意見、活動が参考になりました。



斉藤 綏子
(元村南)

- ①当たり前ですが身だしなみ、言葉づかいなど、又時間帯などです。
- ②昔、山の中を越しての調査区であったので、帰途地元の人が誘導してくれた事。“獣が出て来る…ホラ！出て来たよ、そこに…”私は恐ろしさで分からなかった。
- ③人生観などいろいろ教えられる事が多く、自分の人となりを育てられました。



齊藤 契子
(元村西)

- ①相手に不快な言葉や態度をしない。
- ②きちんと時間を守って待っていてくれた。
- ③信用して、調査票を渡していただけた時は、ほっとします。



藤原 忠雄
(元村東)

- ①服装、身だしなみで第一印象を注意する。
- ②事前の学習が足りないため説明が自分でも物足りなく思った事。
- ③調査宅が非常に協力的な人で、スムーズに調べることができたとき。



津高 雅朗
(元村東)

- ①スケジュール厳守と回収率 100%。
- ②途中からネット回答ができるようになり以前より若干だが便利になったこと。③経済センサスで調査票受取拒否企業が複数あったのが残念でした。
- ③必要性は否定しないが、いつまでも、実に原始的な方法で莫大な経費をかけてやっているものだと思うている。



村田 圭子
(法誓寺)

- ①笑顔でごあいさつ・礼儀 (全て気配り)。◎身だしなみ (清潔感モットー)・靴の汚れ注意。
- ②アパート入居者の仕事、職業柄タイミングが合わないことが多く、表札も少なく、効果的に連絡を取る方法があるとよい。
- ③◎同地域内の様子、交流等わかり得たこと。◎初回でしたが、指導員の方々のお陰で全うできありがとうございました。◎総務省・統計制度・統計調査員って何?知らない方もおりました。



大河内 富美子
(室小路)

- ①笑顔で接する。
- ②初心者用の研修会、他の市町村の方々とお話できる機会があって楽しかったです。みなさんの悩みは同じだなと思いました。



工藤 邦男
(国分)

- ①調査単位区を調査前に巡回して単位区の道順の確認をすること。
- ②土地調査で調査区1軒1軒メジャーで図り宅地の面積を出す作業。
- ③インターネットやスマートフォンでの回答をされる方が多くなったので回収作業がスムーズにできる。



松下 栄一
(あすみ野)

- ①丁寧な対応。
- ③思いのほか、親切な人が多いです。

調査員の皆さんに、次のことをお聞きしました。

- ①調査活動で心掛けていること
- ②統計調査員の活動で印象に残っていること
- ③ひとこと（思い出や、統計調査をして感じたことなど）



柳村 正美
(巣子)

- ①正確な調査と低姿勢対応。
- ②冬季実施の農林業センサスで自家用車が水路にはまり一日引揚げに徹し調査が出来なかったこと。
- ③該当地区対象市民に依頼しているが調査結果報告（簡素な）が必要と感じた。



関 静江
(巣子)

- ①責任を持ち調査の秘密を守ること。
- ②一般の方々より大学生の方が非協力的だなと思います。



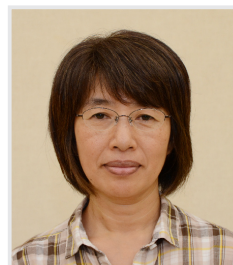
川守田 一孝
(巣子)

- ①相手方の事も考えて何回でも誠意を持って忍耐強く活動すること。
- ②相手方から「調査票が出来たので取りに来てください」との電話があり、調査票をいただいてその後で、「大変ご苦労様です」と労をねぎらう言葉をいただき生き甲斐（やりがい）を感じた一瞬でした。
- ③何回も行くと悪者扱いされ、「また来たの」とか「5日後にポストに入れておくから」と言われて、5日後に行っても入っていない。その後3日後と言われ、調査票は入っていたので、「粗品をどうぞ」と言うと、「そこに置いてってくれ」と言われてドアを開けない方もおりました。大変残念でした。



中村 哲男
(南巣子)

- ①◎調査内容をきちんと説明する。◎相手の対応が悪くても、丁寧にする。
- ②役所で調べればすぐ分かることだからと、初めから調査拒否されたこと。何度伺っても、協力を得られなかった。
- ③雪の中での立ち往生、早朝又は夜しか逢ってくれない方、居留守を使う方、色々と訪問の難しさを知りました。人間勉強でした。



高橋 みゆき
(長根)

- ①出来るだけ、簡潔に分かりやすく主旨を説明して調査に協力していただくようになっています。
- ②約束をしていた受け取りの日に、身内の者ががををして入院し急に行けなくなった時、快く変更に応じていただけたこと。
- ③最初は非協力的な方でも、お話しをしている内に気持ちが通じることで協力していただけることが多いです。「ご苦労様」の一言がうれしいです。



山本 久美
(長根)

- ①◎守秘義務を守ること。◎丁寧な対応と調査の正確さ。
- ③統計によって、国家の基本的国力がわかることに感動。県の経済力も知ることができる。誰かがやらなければならない仕事です。



酒井 和雄
(川前)

- ①まずはその時に与えられた統計調査の内容の習得に尽きる、工業センサスであれ農業センサスであれ調査の目的は何なのかそれを理解し頭に叩き込むこと、この事が調査対象者の質問に自信をもって説明でき、快く協力頂けたと思っております。また、訪問先の事業主に警戒心を感じさせないよう調査活動時の着衣等の身だしなみも大切に心掛けました。
- ②自治会の役員当時、調査員の欠員が発生、取り敢えずと言うか止むを得ずと言うか引き受けたものの、最初の統計調査は定かではないが個別住宅関連の調査で、初めてという事もあり調査活動にはずいぶん難儀した思いが残っている。のちに、この調査の経験が、市から自治会に委嘱された事業に役立ちました。
- ③平成 26 年度統計調査員中央研修に参加できたことが今も鮮明に心に残っている。全国から参加の皆さんとの出会い、研修内容は困難客体への対応、状況への工夫、調査拒否で落ち込む経験、気持ちの切り替え方法など課題は共通でした。何よりも感じた事は、なんと年齢層が若いこと、圧倒的に女性が多いこと、積極的で覇気があることで、感銘を受け研修を終えた事に感謝します。最後に、各種の統計調査を重ねているうちに、もっともっと若い時に携わりたかったと言う一言に尽きます。



砂沢 正一
(川前)

- ①調査活動は、国民の今の生活の実態を正確に把握することにあり、その結果が政策に反映されることを期待し、活動しております。
- ②数は本当に少ないのですが、悪徳セールスマンに訪問されたような受け取りをする家庭もあり、残念です。
- ③調査依頼のハガキを出して頂いたことにより調査活動が大変スムーズに行えたこと。



幅 和弥
(川前)

- ①会えない時は、近所の方から情報を得て活動する。
- ②、③活動年数が浅いため特にありません。

調査員の皆さんに、次のことをお聞きしました。

- ①調査活動で心掛けていること
- ②統計調査員の活動で印象に残っていること
- ③ひとこと（思い出や、統計調査をして感じたことなど）



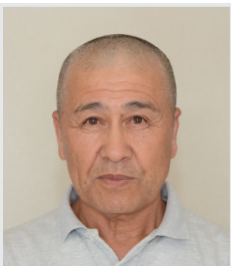
角掛 三四郎
(南一本木)

- ①◎調査区を事前に下調査をする。◎素直な気持ちをもって訪問する。
- ②◎経験のある調査区をやった場合、調査がスムーズ。◎アパート、特に学生の多い所は大変であった。
- ③調査員になって、初めての研修会に参加したときに80歳代の調査員と話し合ったこと。自分も頑張ろうと思った。全国大会参加できたこと。各調査において担当職員に大変お世話になりました。



田高 久子
(いずみ巣子ニュータウン)

- ①あいさつをきちんとすること。シミュレーションをしてみることに。
- ②◎ラーメンを食べているところにタイミングが悪かったらしく、どなられた。◎面倒がられる人、興味がない人が多い。◎他の調査と重なる時があつてうんざりされる。
- ③個人情報を守られないと言われ、協力をして頂けなかった。時代を感じました。



出口 博
(北一本木)

- ①調査内容をよく把握し、提出する側の気持ちになって接する。
- ③何度出向いても出てくれなくて困る（特にアパートや一部の世帯）。顔見知りの地区は協力的でよい。



上野 カナエ
(柳沢)

- ①調査対象者の方と信頼関係が保てるような行動を心がけています。
- ②一人暮らしの方を訪ねた時、話したいことがいっぱいあるみたいで、仕事は終わり、と言ってから少し話をして帰り、喜ばれた事。
- ③大変だ、出来ないとかグチをいいながら、10年以上たち、いろいろな調査に関わるうちに、大事な仕事だと思えるようになりました。世の中の流れと関わっていることは、自分も生かされていると感じるこの頃です。



吉田 操
(北一本木)

- ①言葉。
- ②調査に協力してくれなかったこと。
- ③対応してくれない人もいて残念。

思い出Ⅱ

前統計調査員

石川 一夫 (姥屋敷)

S31.8.1 ~ H24.3.31

- ①平成9年、村当局と会員の熱意により30年のあゆみが発刊されました。この度50年の節目に記念誌が発刊されますことは誠に意義深いことと敬意と感謝の念でいっぱい心からお祝い申し上げます。
- ②20年前と現在では調査の方法、やり方などかなり違うことが多いのではと思います。種類、客体、パソコン利用など、私などでは計り知れないことが多いと思われます。が、常に変わらぬのは精度の高い調査が求められることと思います。たゆみない、根気と御健勝を心から御祈念申し上げます(出来たらOB会などはいかがでしょう)。

田村 美智子 (北一本木)

H7.8.31 ~ H24.3.31

- ①◎工業統計調査を受け持つことが多かったが、12月に配布で1月に回収だったため、雪で道路状況が悪い時が多く、大変だった。◎調査に行った時に「ご苦労様です」と声をかけていただくのは嬉しかった。
- ②統計調査は税金とは無関係な調査だが、企業によってはそれを充分理解していないところもあり、調査票に正確な数字を記入していたのか疑問な点もあった。ビッグデータの時代ですが、これからもアナログな調査が必要なものもあると思うので、調査員の皆様は大変だと思いますが頑張ってください。

馬場 勝弘 (篠木)

S43.12.1 ~ H24.5.11

- ①昭和45年から5年毎の国勢調査、毎年の2月1日農業基本調査等に従事し、冬の聞き取り調査では手がこごえて苦労しました。
- ②都市化に伴いアパート・マンションが多くなり特に一人世帯は留守が多いので訪問時間で苦労しました。聞き取り時に税の資料と考えるのか毎年相違がありました。

蛭名 啓司 (小岩井)

H15.7.25 ~ H21.3.31

- ①調査票の回収に伺った時に、すぐ提出して下さる方があり嬉しかった。一方ある若者に「受取り拒否」されたが、優しく手渡した途端に、眼前で封筒のまま破り裂き、ゴミ箱に投入された事があり忘れられない。冬季の住宅調査は、積雪と手指の冷えに耐えられず、困難を来たした。
- ②知らない地区も回る事もあり、住宅や道路状況を知る事が出来たが、種々の職業(学生含む)により、回収に夜や早朝に何回も(最高7回)タダ戻りする事もあったが、今は郵送もでき、効率良くなった。

中田 和弘 (柳沢)

H21.5.13 ~ H27.6.30

- ①6年間の在任中で、柳沢地区は農業世帯が多く、隣の家まで数百メートル離れており、範囲が広く、特に冬期調査で寒さと吹雪の中、必死に訪問調査をしたことが、とても懐かしく思います。
- ②統計調査員として、経験から学習・研鑽し、統計調査の更なる発展を御祈念いたします。(やるだけやるさ!! やれるだけやるさ!!)

前調査員の皆さんに、次のことをお聞きしました。

- ①統計調査員をしていて印象に残っていることは（嬉しかったこと、つらかったことなど）
- ②ひとこと（思い出や、統計調査をして感じたこと、現会員への励ましなどなど）

関村 三千雄（川前）

S41.4.1～H27.3.31

①50周年おめでとうございます。調査員になって初めの頃は農業センサスは毎年行われ、国勢や商業、その他色々な業種の統計、また滝沢独自の調査もあり、説明会時、書類の多い事にびっくりしたものです。滝沢村の人口、調査員も倍になり人口日本一の村となり、私の地区も8割がアパートになりました。調査も横文字が多くなり個人情報保護やインターネット回答の導入など、調査環境の変化を感じました。

②調査員になった時は毎年県大会、研修会が有り楽しみでしたが、全国大会に参加しなくなり、滝沢村が市制になった頃から？県大会や研修会が日帰り、調査員の横のつながりが少なくなりました。行政はデータだけ求める事なくうるおいの有る対応をしてもらいたい（今の人は多忙ですから）。

藤倉 節子（大沢）

S49.4.1～H21.3.31

①私の父が病気になってから、父の代わりに昭和49年から調査員を始めました。何も分からない私に力をもらい、私が病気をするまで頑張りました。いろいろとありがとうございました。

②私がやっていた当時は農業センサスがとても多かったような気がします。今の人達は色々な調査があって大変でしょう。頑張ってください。

佐々木 義教（柳沢）

H1.10.1～H21.3.31

①一人暮らしの男性宅に何回行っても会えない、テレビがついているのに出てこない、玄関にメモを置くにもすき間がなく大変困ったことがありました。

②都合上夜行くこともありましたが、あまり遅く行って不審者に間違われ、通報されたことがあるので時間をよく考えながらやった方がよいのでは。

安孫子 省三（姥屋敷）

H14.4.1～H27.3.31

- ①◎調査家庭の飼い犬に注意する事。危険です。
- ◎色々の家庭を回り見習う事も沢山あります。今後自分の足しにしようと思っております。
- ◎調査員は決して腹立する事なく対応に努める事。

丸山 勇八（国分）

H18.6.20～H24.3.31

②日中の留守が多くて苦労しました。

滝沢市統計調査員協議会

滝沢市統計調査員協議会員（平成30年3月1日現在） 調査員数 46名

地区	自治会	氏名	任命年月日	勤続年数
小岩井	小岩井	苦米地 康 夫	H23. 5.20	6年9カ月
	小岩井	宮 野 一 夫	H21. 5.13	8年9カ月
大 釜	大釜上	日 向 昭 男	H24. 5.11	5年9カ月
	大釜上	大 宮 正 正	H25. 5. 2	4年9カ月
	大釜南	武 田 謙 三	H23. 5.20	6年9カ月
	大釜南	大 宮 恵 子	H 7. 7.11	22年7カ月
	大釜南	武 田 美 紀	H15. 4.11	14年10カ月
篠 木	篠 木	武 田 久 良	H24. 5.11	5年9カ月
	篠 木	齊 藤 信 夫	H27. 6.18	2年8カ月
	篠 木	小野木 秀 昭	H26. 8.11	3年6カ月
大 沢	大 沢	齊 藤 文一郎	H20. 5.15	9年9カ月
	大 沢	藤 倉 恭 一	H20. 5.15	9年9カ月
鵜 飼	上鵜飼	吉 田 賢 治	H20. 5.15	9年9カ月
	上鵜飼	関 進	H27. 4. 1	2年11カ月
	鵜飼中央	大 川 省 市	H27. 4. 1	2年11カ月
	鵜飼温泉	内 記 軌 平	H29. 5.11	9カ月
	滝沢NT	佐々木 勝 男	H24. 5.11	5年9カ月
姥屋敷	姥屋敷	佐々木 清 彦	H24. 5.11	5年9カ月
	姥屋敷	太 田 豊	H29. 6. 8	8カ月
元 村	元村南	齊 藤 綏 子	H 5. 7. 1	24年8カ月※
	元村中央	駿 河 慎 吾	H20. 5.27	9年9カ月
	元村中央	去 石 一 美	H28.12.20	1年2カ月
	元村西	齊 藤 契 子	H21. 5.13	8年9カ月
	元村東	藤 原 忠 雄	H17. 2. 1	13年1カ月
	元村東	津 高 雅 朗	H27. 4.30	2年10カ月
	元村北	越 田 秀 樹	H26. 6.25	3年8カ月
	法誓寺	村 田 圭 子	H28.12.20	1年2カ月
	室小路	大河内 富美子	H27. 6. 8	2年8カ月
	国 分	工 藤 邦 男	H24. 5.11	5年9カ月
	あすみ野	松 下 栄 一	H21. 5.13	8年9カ月
川 前	巢 子	柳 村 正 美	H21. 5.13	8年9カ月
	巢 子	関 静 江	H21.10.20	8年4カ月
	巢 子	川守田 一 孝	H27. 5.19	2年9カ月
	南巢子	中 村 哲 男	H20. 5.15	9年9カ月
	長 根	高 橋 みゆき	H23. 5.20	6年9カ月
	長 根	山 本 久 美	H17. 5.30	12年9カ月
	川 前	砂 沢 正 一	H21. 6. 1	8年9カ月
	川 前	幅 和 弥	H27. 5.21	2年9カ月
一本木	川 前	酒 井 和 雄	H19. 4.19	10年10カ月
	南一本木	角 掛 三四郎	S44.12. 1	48年3カ月
	南一本木	角 掛 正 蔵	H13. 4. 1	16年11カ月
	北一本木	出 口 博	H24. 5.11	5年9カ月
	北一本木	吉 田 操	H24. 5.11	5年9カ月
柳 沢	いずみ巢子NT	田 高 久 子	H17. 1.20	13年1カ月
	柳 沢	佐々木 正 成	H28.12.20	1年2カ月
	柳 沢	上 野 カナエ	H15. 7.10	14年7カ月

※ S45 ~ H5 盛岡市統計調査員

滝沢市統計調査員協議会歴代役員名簿 (平成20年～平成29年)

年 度	会 長	副会長	理 事	監 事
20	高 橋 三 郎	馬 場 勝 弘 藤 綏 子	千 葉 福 四 武 田 隆 彌 齊 藤 文 郎 石 川 一 夫 長 内 三 郎 佐 木 民 治 関 村 三 千 雄 義 教	澤 村 永 悦 田 村 美 智 子
21	馬 場 勝 弘	関 村 三 千 雄 斉 藤 綏 子	千 葉 福 四 武 田 隆 彌 齊 藤 川 文 郎 澤 村 永 悦 石 川 木 一 夫 吉 田 文 四 佐 木 野 民 治 角 掛 三 郎 上 野 力 ナ 工	川 村 三 千 美 田 村 美 智 子
22	馬 場 勝 弘	関 村 三 千 雄 斉 藤 綏 子	千 葉 福 四 武 田 隆 彌 齊 藤 川 文 郎 澤 村 永 悦 石 川 山 一 博 志 田 文 四 下 野 力 ナ 工	川 村 三 千 美 田 村 美 智 子
23	馬 場 勝 弘	関 村 三 千 雄 斉 藤 綏 子	宮 野 一 夫 大 宮 惠 子 齊 藤 文 一 郎 澤 村 永 悦 石 川 本 久 美 田 文 四 山 野 力 ナ 工	川 村 三 千 美 田 村 美 智 子
24	関 村 三 千 雄	斉 藤 綏 子 斉 藤 文 一 郎	宮 野 一 夫 大 宮 惠 子 澤 安 孫 村 子 本 野 廣 省 久 美 三 美 山 上 野 力 ナ 工	川 村 三 千 美 角 掛 正 藏
25	関 村 三 千 雄	斉 藤 綏 子 斉 藤 文 一 郎	宮 野 一 夫 大 宮 惠 子 澤 安 孫 村 子 本 野 廣 省 久 美 三 美 山 上 野 力 ナ 工	川 村 三 千 美 角 掛 正 藏
26	関 村 三 千 雄	斉 藤 綏 子 斉 藤 文 一 郎	宮 野 一 夫 大 宮 惠 子 武 安 孫 田 子 本 野 久 省 久 美 三 美 山 上 野 力 ナ 工	川 村 三 千 美 角 掛 正 藏
27	齊 藤 文 一 郎	斉 大 藤 宮 綏 惠 子 大 宮 子 子	宮 野 一 夫 武 田 久 良 吉 藤 原 賢 治 佐 木 彦 酒 上 野 忠 和 雄 山 本 美 博 野 力 ナ 工	佐 々 木 勝 男 田 高 久 子
28	齊 藤 文 一 郎	斉 大 藤 宮 綏 惠 子 大 宮 子 子	宮 野 一 夫 武 田 久 良 吉 藤 原 賢 治 佐 木 彦 酒 上 野 忠 和 雄 山 本 美 博 野 力 ナ 工	佐 々 木 勝 男 田 高 久 子
29	齊 藤 文 一 郎	斉 大 藤 宮 綏 惠 子 大 宮 子 子	宮 野 一 夫 武 田 久 良 吉 藤 原 賢 治 佐 木 彦 酒 上 野 忠 和 雄 山 本 美 博 野 力 ナ 工	佐 々 木 勝 男 田 高 久 子

滝沢市統計調査員協議会会則

昭和42年4月1日制定
昭和57年8月26日改正
昭和58年10月18日改正
昭和60年9月6日改正
平成4年9月4日改正
平成6年8月30日改正
平成8年9月4日改正
平成10年3月6日改正
平成15年4月21日改正
平成26年5月22日改正

第1章 総則

(目的)

第1条 本会は、統計思想の普及を図るとともに調査員相互の連絡協議機関たることを目的とする。

(名称)

第2条 本会の名称を滝沢市統計調査員協議会と称する。

(組織)

第3条 本会は、滝沢市統計調査員を正会員とし、滝沢市統計事務職員を特別会員としてこれを組織する。

(事務局)

第4条 本会の事務局を滝沢市役所統計主管課内に置く。

(事業)

第5条 本会は、第1条の目的を達成するためつぎの事業を行う。

- (1) 統計調査事務の改善及び研修に関すること。
- (2) 統計思想の普及を図ること。
- (3) 会員の親睦を図ること。
- (4) その他必要と認めること。

第2章 役員及び会議

(役員及び選出方法)

第6条 本会につぎの役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 9名
- (4) 監事 2名

2 理事、監事は総会において会員中から選出する。

- (1) 理事 12名
- (2) 監事 2名

3 会長及び副会長は、理事の互選とする。

(職務)

第7条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し会務を総理する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長の事故あるときはその職務を代理する。
- (3) 理事は、総会の議決事項の遂行にあたる。

(4) 監事は、本会の業務の執行状況を監査する。

(書記)

第8条 本会に書記若干名を置く。

2 書記は、会長が任命し庶務会計に従事する。

(任期)

第9条 役員の任期は3年とする。ただし再任を妨げない。

2 欠員が生じた場合は補充選任し、補充選任された場合は前任者の残任期間とする。

(総会)

第10条 総会は毎年1回開き、次のことを議決する。

(1) 予算の認定

(2) 決算の承認

(3) 事業計画

(4) その他会長が必要と認めること

2 総会の議長は、出席会員中から選出する。

3 総会は、会長が招集し会員の過半数（委任状を含む）の出席をもって成立し、議事は出席会員の過半数をもって決する。

(理事会)

第11条 理事会は、必要に応じ会長が招集する。

2 理事会は、理事過半数の出席をもって成立し、議事は出席理事の過半数をもって決する。

(顧問)

第12条 本会に、顧問若干名を置くことができる。

2 顧問は、総会の承認を得て会長が委嘱する。

3 顧問は、会長の諮問に応じ、かつ本会の事業を援助するものとする。

第3章 経費及び会計年度

(経費)

第13条 本会の経費は、会費及びその他の収入をもって充てる。

2 会費は、正会員及び特別会員年額 2,000 円とする。ただし、特別の事情により総会または理事会が必要と認めたときは臨時増徴することができる。

3 会員が本会を退く場合においても既納会費は返戻しない。

(会計年度)

第14条 本会の会計年度は、4月から翌年3月までとする。

第4章 補則

第15条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に必要なことは会長が定める。

2 この会則は、総会において出席した会員の3分の2以上の同意がなければ改廃することができない。

附 則

この会則は、平成 26 年 5 月 22 日から施行する。

滝沢市統計調査員協議会設立 50 周年記念誌
「50 年のあゆみ」
発行日 平成 30 年 3 月 26 日
編集・発行 滝沢市統計調査員協議会